

鶯宿温泉スポーツエリア 整備計画

平成30年11月

雫石町

目 次

1. 計画策定の趣旨	1
(1) 計画策定の趣旨	1
(2) 構想について	1
(3) 計画の位置づけ	2
(4) 計画の期間	2
2. 施設の現況	3
(1) 旧南畑小学校	3
(2) 鶯宿運動場	5
(3) ゲートボール場	6
(4) クロスカントリースキー場	7
3. 整備の概要	8
(1) 旧南畑小学校	8
(2) 鶯宿運動場	11
(3) ゲートボール場	11
(4) クロスカントリースキー場	11
4. 整備実施計画	12
5. 概算事業費と見込まれる特定財源	13
6. 管理運営コストの見込み	13
参考資料	14
鶯宿温泉スポーツエリア内スポーツ施設の利用状況	15
鶯宿温泉スポーツエリア利活用に係る意見提案等検討シート	18
鶯宿温泉スポーツエリア構想プロジェクトチームのこれまでの経過について	28

1. 計画策定の趣旨

(1) 計画策定の趣旨

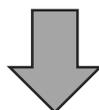
雫石町は、平成 29 年 11 月に、廃校となった旧南畑小学校を含む鶯宿地区周辺の既存スポーツ施設を「鶯宿温泉スポーツエリア」として一体的に利活用する方針を決定し、平成 30 年 7 月に、「鶯宿温泉スポーツエリア構想」（以下「構想」という。）を策定しました。

本計画は、構想に掲げる「基本理念」「目指すべき姿」「基本方針」に基づき、計画的に施設等の整備を進めていくために策定するものです。

(2) 構想について

【基本理念】

スポーツと地域振興のための拠点の形成



【目指すべき姿】

- I 町民のスポーツ環境の向上
- II スポーツによる交流人口拡大で地域の賑わいと活力の創出

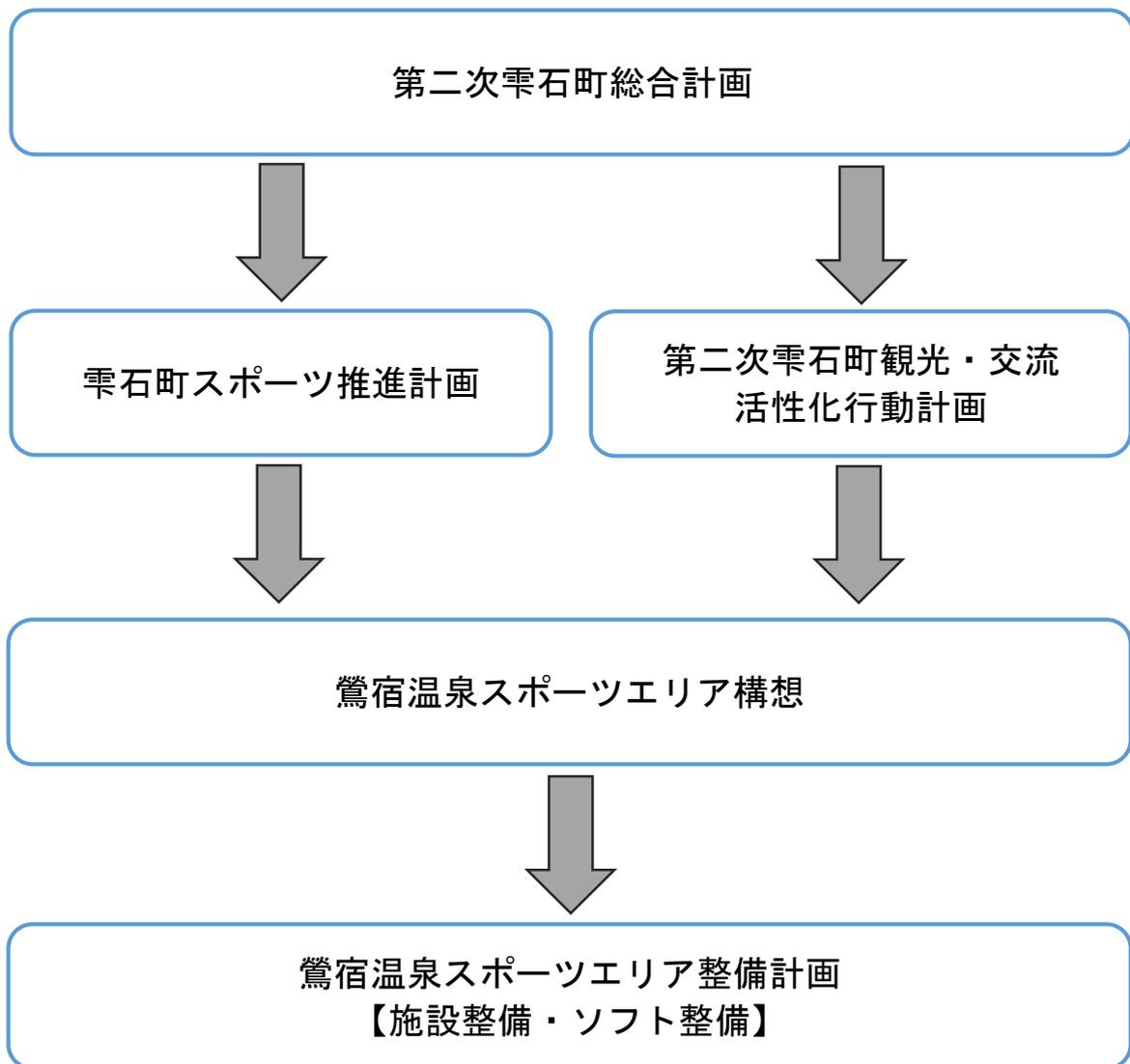
【基本方針】

- (1) 既存施設の有効活用による町民のスポーツ環境の向上を目指します。
- (2) 民間事業者や関係団体と連携し、スポーツによる観光誘客に向けた受入れ推進体制の構築を目指します。
- (3) スポーツエリアの中核施設となる旧南畑小学校校舎は、地域住民の思い出に配慮するほか、誰もが気軽に快適に利用できる空間づくりを目指します。
- (4) 中長期的な視点での持続可能な運営体制を目指します。

鶯宿温泉スポーツエリア内の施設

- ①旧南畑小学校
- ②鶯宿運動場
- ③ゲートボール場
- ④クロスカントリースキー場

(3) 計画の位置づけ



(4) 計画の期間

鶯宿温泉スポーツエリア整備計画（以下「整備計画」という。）の目標期間は、平成31（2019）年度から平成32（2021）年度までの2年間とします。ただし、計画の進捗状況や社会情勢の変化等に合わせて、必要に応じ計画の見直しを行うものとします。

2. 施設の現況

(1) 旧南畑小学校

所在地	雫石町南畑第 32 地割 15-26
開設年	昭和 60 年 12 月
敷地面積	21,501 m ² (学校敷地 9,553 m ² 、屋外運動場敷地 10,842 m ² 、その他敷地 1,471 m ²)
延床面積	校舎 2,314 m ² 、屋内運動場 825 m ² (うちアリーナ 621 m ²)
施設概要	校舎 1階 普通教室 1、多目的教室、職員室、校長室、保健室、放送室、厨房、食堂、食品庫、ボイラー室、トイレ 2カ所、昇降口等 2階 普通教室 4、図書室、家庭科教室、図工室、コンピュータ室、音楽教室、理科室、理科準備室、トイレ 1カ所 屋内運動場 アリーナ (27m×23m)、ステージ、器具室、控室、更衣室、管理室、トイレ、玄関
駐車場	約 40 台
トイレ	簡易水洗トイレ 校舎 男子 洋式 2 基、和式 3 基、小便器 8 基 (1階・2階の合計) 女子 洋式 2 基、和式 8 基 (1階・2階の合計) 屋内運動場 男子 和式 1 基、小便器 4 基 女子 和式 3 基
課題	①校舎は、学校施設として整備されたため、現状のままスポーツ施設として使用することは困難 ②校庭は、廃校後は使用がほとんどない状況であるため、雑草対策が必要。また、土手側の一部は水はけが悪い状況

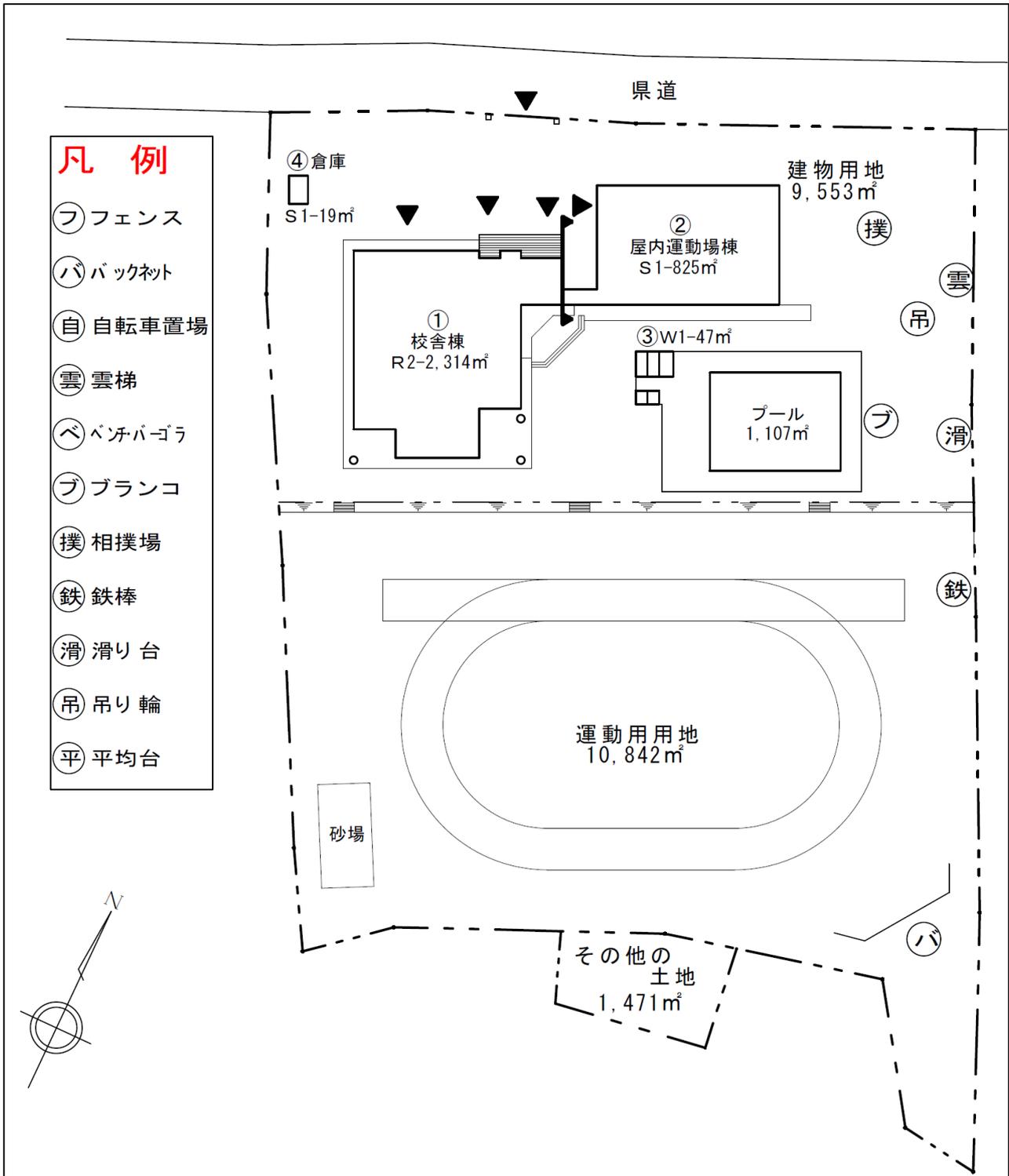


(校庭・校舎外観)



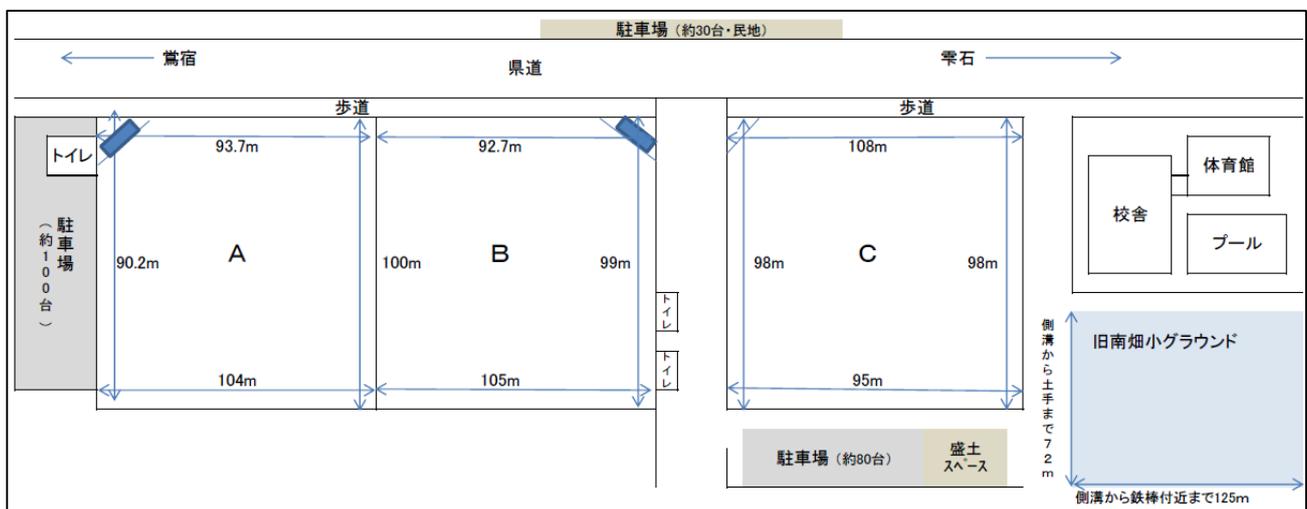
(校舎・体育館外観)

旧南畑小学校配置図



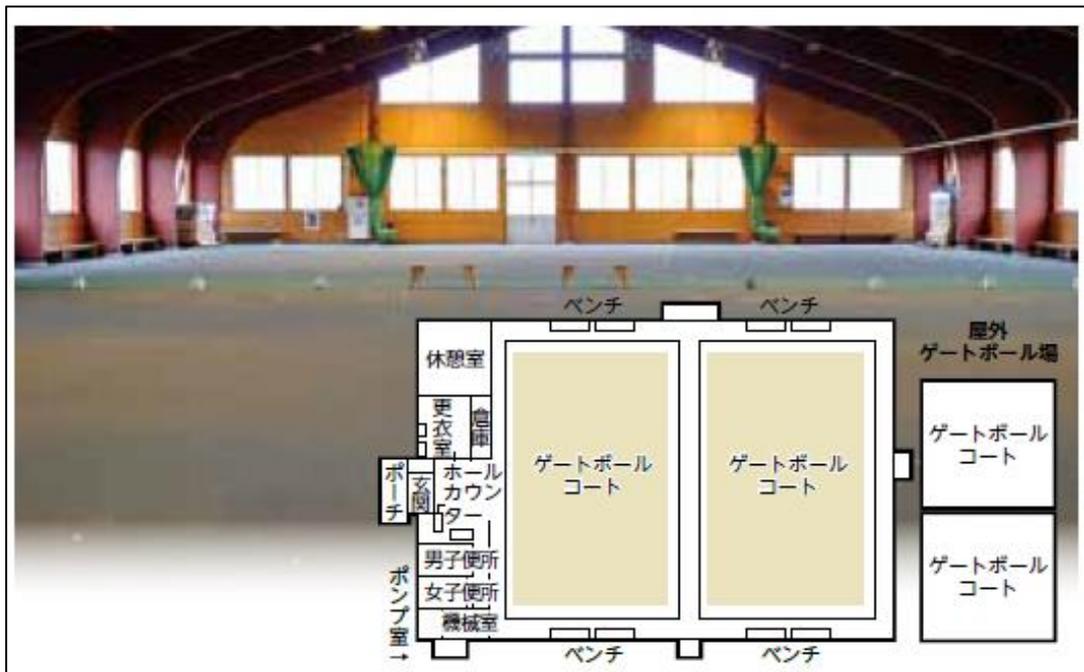
(2) 鶯宿運動場

所在地	雫石町南畑男助山1-29及び1-5
開設年	昭和44年
敷地面積	51,656 m ² (グラウンド3面合計42,390 m ²)
延床面積	本部席32.40 m ² (A及びBグラウンドバックネット裏)
施設概要	土のグラウンド3面 (A～C)、Cグラウンドのみ外野芝生 ドクターヘリ、防災ヘリの離発着ポイント
駐車場	Aグラウンド脇 約100台 (舗装) Bグラウンド脇 約30台 (民間整備・非舗装) Cグラウンド奥 約80台 (非舗装)
トイレ	Aグラウンド脇 合併処理浄化槽方式 男子 (和式1基、小便器3基)、女子 (和式1基、洋式2基)、 障がい者用 洋式1基 Bグラウンド脇 汲み取り式 和式2基、小便器3基 常流循環式 洋式2基
供用時間	4月下旬～11月 8:00～17:00
休場日	期間中なし
課題	①A及びBグラウンドは、サッカーやラグビーのフィールドは確保できるものの、土で整備されていることにより、近年は、野球及びソフトボール競技の使用が中心。また、ソフトボール競技の大会は、野球の内野以外の場所に3面を設けて行われているが、グラウンド境に設置している防球ネット付近は土の締まりが弱く、グラウンドコンディションとしては良好な状態で使用に供することができない状況 ②県規模の大会時は駐車場が不足する状況



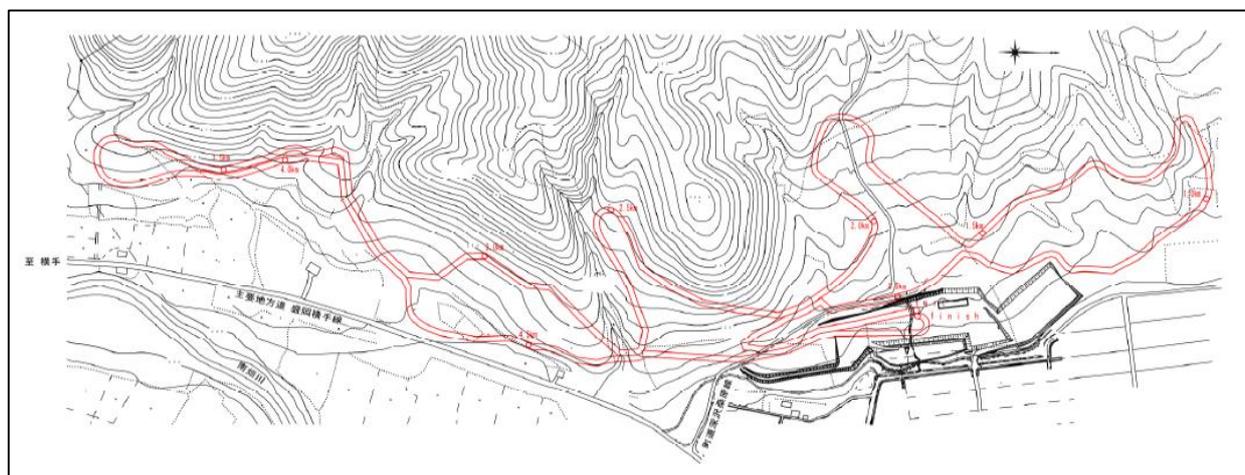
(3) ゲートボール場

所在地	雫石町南畑第 32 地割 332-1
開設年	平成元年 1 月
敷地面積	2,824.7 m ²
延床面積	屋内 (39m×25m 1,127.8 m ²)
施設概要	屋内 2 面、屋外 2 面、休憩室、湯沸室、トイレ男女
駐車場	約 40 台 (舗装)
トイレ	男子 (洋式 1 基、小便器 4 基)、女子 (和式 2 基、洋式 2 基)
供用時間	9 : 00 ~ 17 : 00
休場日	毎週水曜日、12 月 29 日 ~ 1 月 3 日
課題	防球ネット未整備のため、現状では多目的利用が困難な状況



(4) クロスカントリースキー場

所在地	雫石町南畑第21地割26-15
開設年	平成13年2月
敷地面積	161,881.55 m ²
延床面積	401.53 m ² (管理棟)
施設概要	コース (2 km、3 km、5 km)、発着場長さ 200m×幅 77.5m 管理棟 (車庫・倉庫付き、鉄骨造り2階建て) 1階 シャワー室 (男女各2基)、無料休憩室、トイレ 2階 計時・ジュリー・会議・放送スペース、トイレ 隣接地に民間経営のウォータージャンプ場あり (平成20年5月～)
駐車場	2カ所 (非舗装) 夏期 合計約180台、冬期 合計約100台
トイレ	1階 男子 洋式1基、小便器3基、女子 洋式4基 2階 洋式1基、小便器1基 (兼用)
供用時間	9:00～17:00 (夏期: 4月下旬～11月下旬、冬期: 12月下旬～3月下旬)
休場日	毎週水曜日、12月31日～1月2日
課題	利用者増加のための夏場の活用促進策。物品収納庫が不足している状況



5 kmコース平面図

3. 整備の概要

地域住民や関係団体等からの意見、提案及び町財政状況を考慮した鶯宿温泉スポーツエリア（以下「エリア」という。）の整備概要は、以下のとおりです。

施設整備として、鶯宿運動場の利用の大半を占める野球及びソフトボール競技、過去2年間、旧南畑小学校の利用実績があるアーチェリー競技、町内でも愛好家の多いグラウンド・ゴルフ競技での活用を見込み、旧南畑小学校校舎では、親子でのふれあいや健康教室等で活用が図られるように整備を行います。

初期の計画として、2019年度は、旧南畑小学校及びグラウンド・ゴルフコースの整備を、2020年度には鶯宿運動場及び旧南畑小学校校庭への防球ネットの整備を実施します。その後、利用状況や運用状況、あるいは老朽度合を考慮し、段階的に必要な整備を進めます。

なお、整備を計画的に進めていくため、財源として独立行政法人日本スポーツ振興センターの「スポーツ振興くじ助成金」を活用するものとします。

また、施設整備と合わせて、エリア内施設の有効活用や大会及び合宿誘致が図られるよう競技実施団体や町内関係団体等との調整を進めます。

(1) 旧南畑小学校

エリア内の中核施設として位置づけ、年代を問わず全ての町民がスポーツ及び健康づくりに親しむことができるようにします。また、大会や合宿などでの活用や岩手国体のレガシーをつなぐ施設とするほか、地域の拠り所でもあった旧南畑小学校の歴史にも触れることができるようにします。

加えて、相撲場撤去による駐車場整備により、エリア内で開催される大会の駐車場不足にも対応できるようにするほか、校庭周辺の安全を確保するため防球ネットを設置します。

①校舎及び体育館

- ・用途変更に伴う消防法及び建築基準法への対応
- ・バリアフリーに配慮した玄関のスロープ化と多目的トイレの設置
- ・誰もが快適に利用できるよう既存トイレのシャワートイレ化
- ・屋内外利用者問わず利用できるシャワールームの設置（職員トイレ・ロッカーを活用、災害時に避難所となった場合も想定しての整備）
- ・地域の人が思い出を感じられる学校記念品展示室の設置（家庭科教室を活用）
- ・幼児期にさまざまな動作を経験し、運動神経系の発達を目的としたキッズトレーニングルームの設置（空き教室で1番広い旧理科室を活用）
- ・ダンスや健康教室等でニーズの高い鏡張りダンスルームの設置（図工室を活用）
- ・普通教室や多目的ルームには、スラックラインや卓球台等を設置

※その他の部屋は、別添整備イメージ図のとおり有効活用

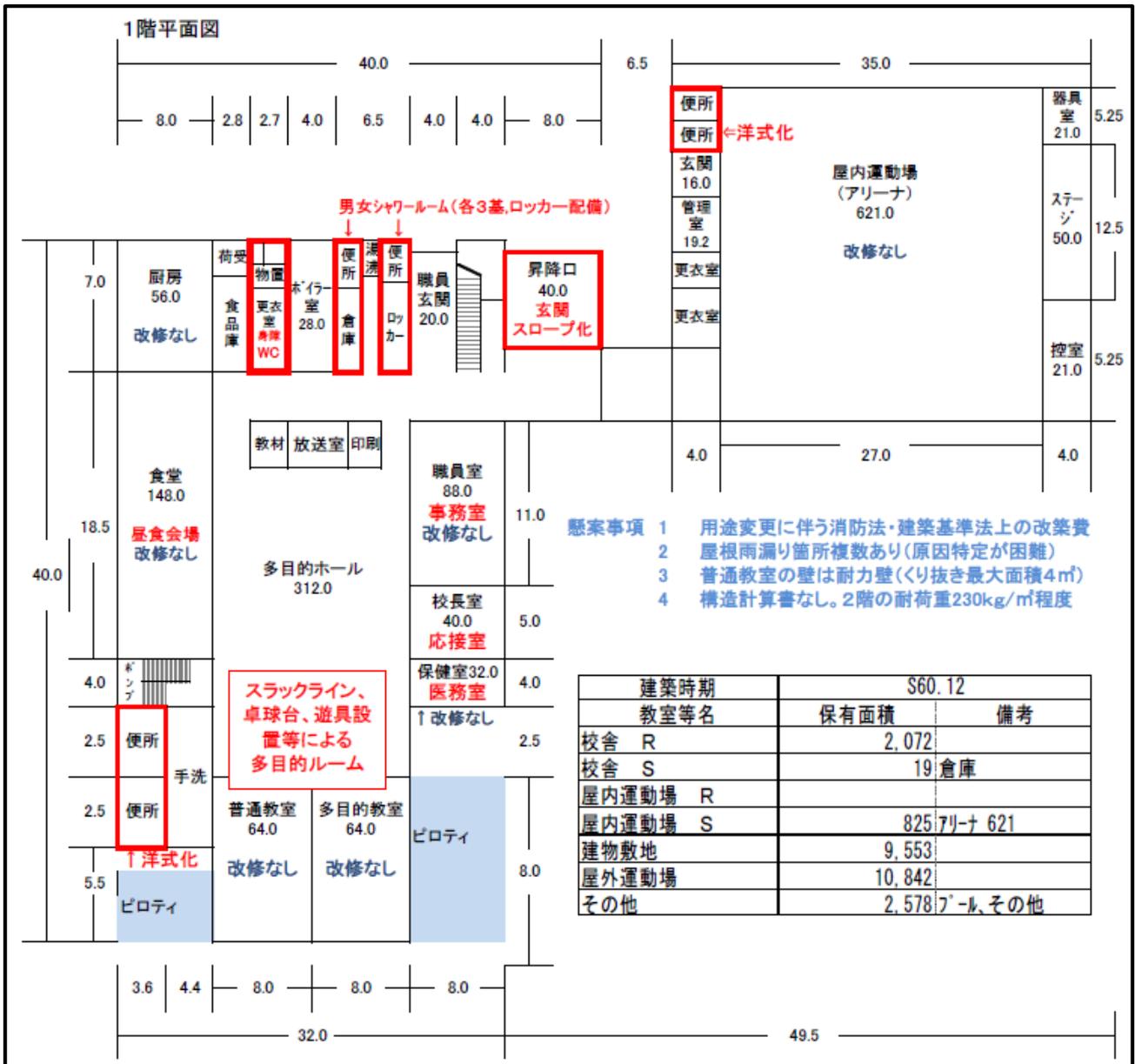
②校庭等

- ・一部拡幅によるアーチェリー競技への対応と湿地改善のための側溝の整備
- ・町道側への防球ネットの設置（70m程度）
- ・相撲場撤去及び遊具撤去による駐車場整備（非舗装・約30台分）

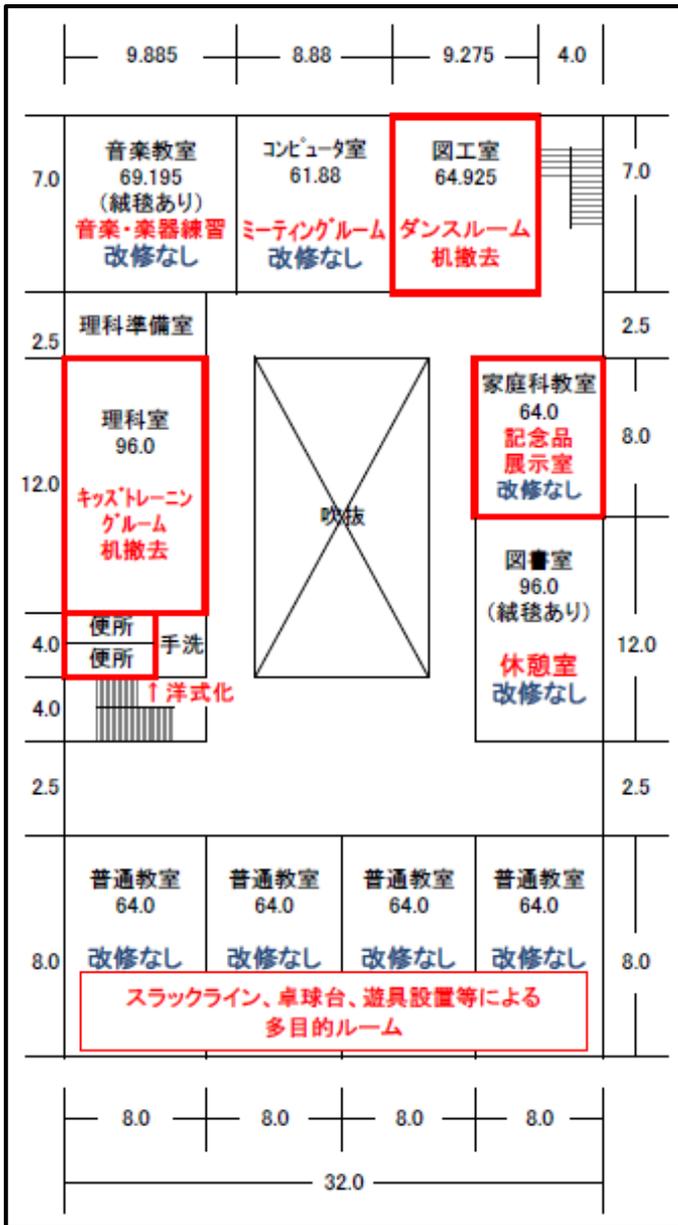
※校庭の芝生化については、イニシャル及びランニングコストに高額な経費がかかること、隣接する鶯宿運動場3面と合わせると軟式野球で4面、ソフトボール競技で5面が確保でき、両競技のさらなる大会誘致が見込まれることから、当面は芝生化を実施しないこととします。

旧南畑小学校整備イメージ図

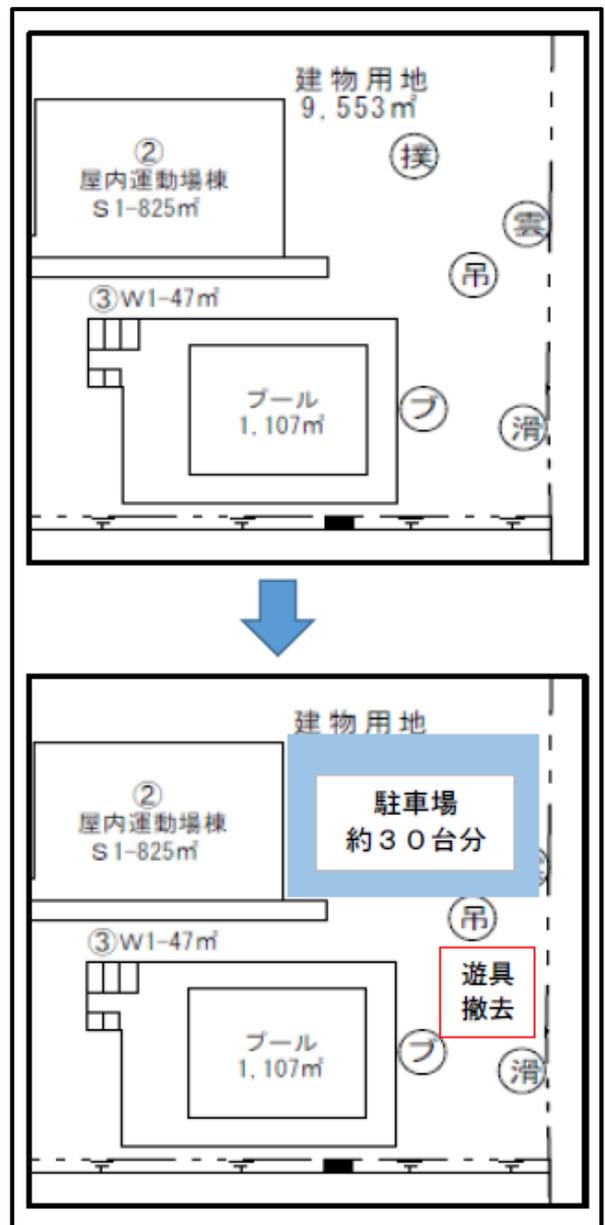
【校舎1階】



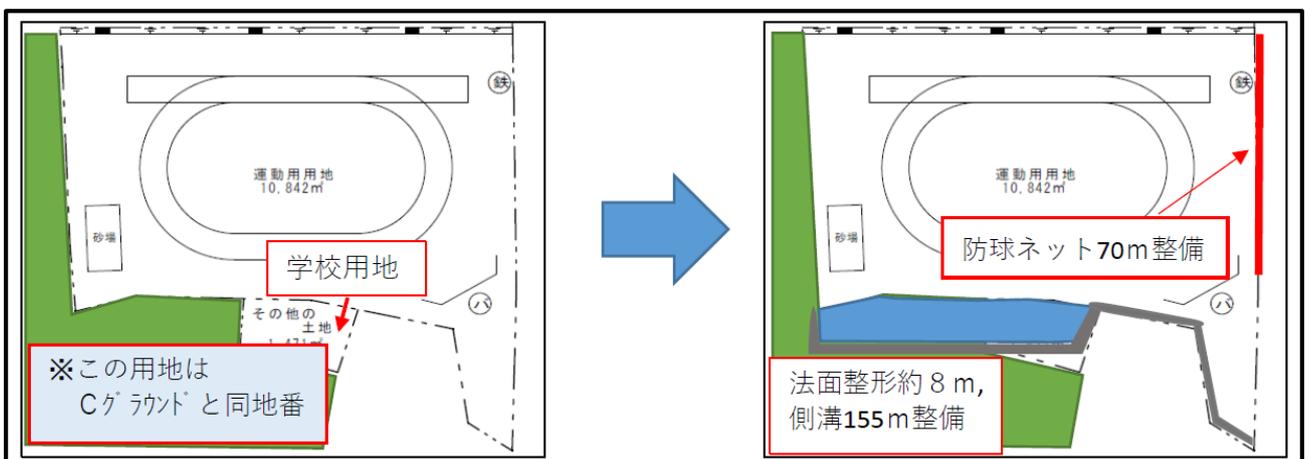
【校舎 2階】



【駐車場整備部分】



【校庭】

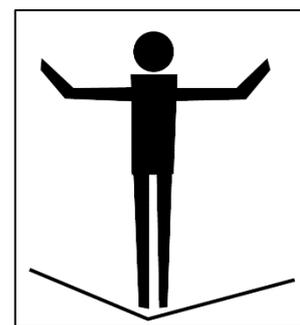


スラックラインについて

スラックラインは、約 10 年前に誕生したニュースポーツです。

競技者はわずか 5 c m のライン上でアクロバティックな技を展開し、その難易度や技の美しさを競い合います。

近年はライン上での静止・歩行が体幹やバランス強化に役立つことがスポーツや医療の分野でも注目されており、その気軽さから老若男女が親しめるスポーツとして、日本ではもちろん世界 80 カ国約 300 万人が愛好していると言われています。



【イメージ図】

(2) 鶯宿運動場

軟式野球やソフトボールなど、運動場利用に係る周辺的安全確保のため、県道側に防球ネットを設置します。

- ・防球ネット設置（各グラウンド 90m 程度の整備）

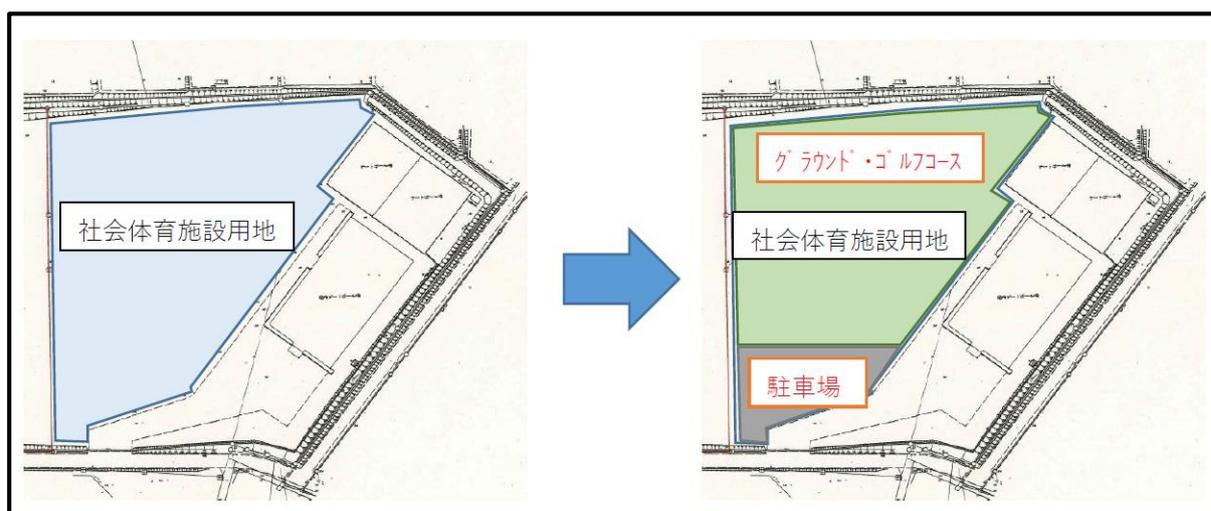
(3) ゲートボール場隣接地へのグラウンド・ゴルフコースの整備

ゲートボール場に隣接する鶯宿地区社会体育施設用地（14,015 m²）には、校庭拡幅により発生する残土を利用し、2 カ年で起伏のあるグラウンド・ゴルフコースを整備します。

また、鶯宿地区社会体育施設用地の一部（750 m²程度）を駐車場として整備します。

- ・グラウンド・ゴルフコース整備（8 ホール×2 コース）
- ・駐車場整備（非舗装、約 30 台分）

鶯宿地区社会体育施設用地整備イメージ図



(4) クロスカントリースキー場

クロスカントリースキー場は、トレイルランニング、マウンテンバイクの貸出し、男助山登山など、夏場の利活用が図られるよう情報発信に努めます。

4. 整備実施計画

(1) 施設（ハード）整備

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
旧南畑小学校	31年度 (2019)	設計業務 発注	→				工事発注, 監理業務 発注	→					
グラウンド・ ゴルフコース	31年度 (2019)						土砂運搬, 駐車場整備	→					
	32年度 (2020)		芝苗張り ・養生	→									
鶯宿運動 場	32年度 (2020)	設計業務 発注	→				工事発注, 監理業務 発注	→					

※特段の事由が生じた場合には必要に応じて計画の見直しを行います。

(2) ソフト整備

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
31年度 (2019)	<ul style="list-style-type: none"> 合宿プラン（食事メニュー、送迎、おもてなし）の調整（民間事業者） 合宿助成の情報発信、宿泊施設一覧の整備・情報発信（観光協会） 教室利活用調整（活動団体等・町） 管理運営体制及び利用料金の検討・条例改正、愛称募集等（町） 地域連携（維持管理等）調整（町） 大会招致等（体育協会・競技団体） 			→								
					合宿相談会 での合宿誘 致（町） ※次年度も						合宿相談会 での合宿誘 致（町）	
32年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ※引き続き上記調整等 スポーツ推進コーディネーター（地域おこし協力隊員等）雇用の検討 周知パンフ発注 			→								

5. 概算事業費と見込まれる特定財源

区分	概算事業費（税込）	特定財源	備考
旧南畑小学校	設計・監理 3,500 千円	スポーツ振興くじ助成金 ^{※1} 助成見込額：6,000 千円	・トイレ・シャワー改修が対象 ・駐車場用
	工事費 34,500 千円		
	原材料費 100 千円		
鶯宿運動場	設計・監理 1,000 千円	スポーツ振興くじ助成金 ^{※2} 助成見込額：10,000 千円	防球ネット
	工事費 20,000 千円		
グラウンド・ゴルフ場	原材料費 300 千円 芝苗・肥料等 2,600 千円	なし	コース：残土利用 駐車場：町運転手による運搬・敷均し
合計	62,000 千円	16,000 千円	町費 46,000 千円

※1 地域スポーツ施設助成▷スポーツ施設等整備事業のうち、学校開放事業によるスポーツ活動に供する施設等の整備（助成限度額2千万円、下限額1千万円以上、補助率2/3）を活用
※トイレ及びシャワー改修が対象経費となる。

※2 地域スポーツ施設助成▷スポーツ施設等整備事業のうち、スポーツ競技施設等の整備（助成限度額3,000万円、下限額1,000万円以上、補助率2/3）

6. 管理運営コストの見込み

施設整備後の管理と運用に係るコストについては、旧南畑小学校の光熱水費や施設管理にかかる費用等を参考として算出したものです。

なお、人件費は、管理主体が未定のため含まれていませんが、最低限の人員配置による施設維持管理を検討します。

費用名称	内 容	概算事業費	備考
需用費	消耗品費、光熱水費、燃料費、修繕費等	3,500 千円	
委託料	清掃業務、除雪業務、保守（自家用電気工作物、消防設備、貯水槽清掃、浄化槽、ボイラー、地下油タンク、特定建築物定期点検）	1,200 千円	
その他	通信運搬費、NHK 放送受信料、パソコン賃借料、清掃用具借り上げ料	300 千円	
合計		5,000 千円	

《参考資料》

- ・ 鶯宿温泉スポーツエリア内スポーツ施設の利用状況
- ・ 鶯宿温泉スポーツエリア利活用に係る意見提案等検討シート
- ・ 鶯宿温泉スポーツエリア構想プロジェクトチームのこれまでの経過について

鶯宿温泉スポーツエリア内スポーツ施設の利用状況

エリア内施設の年間利用状況は次のとおりで、過去3年間の平均では、鶯宿運動場が11,970人、屋内ゲートボール場が6,233人、クロスカントリースキー場が3,707人、全体では21,910人が利用しています。

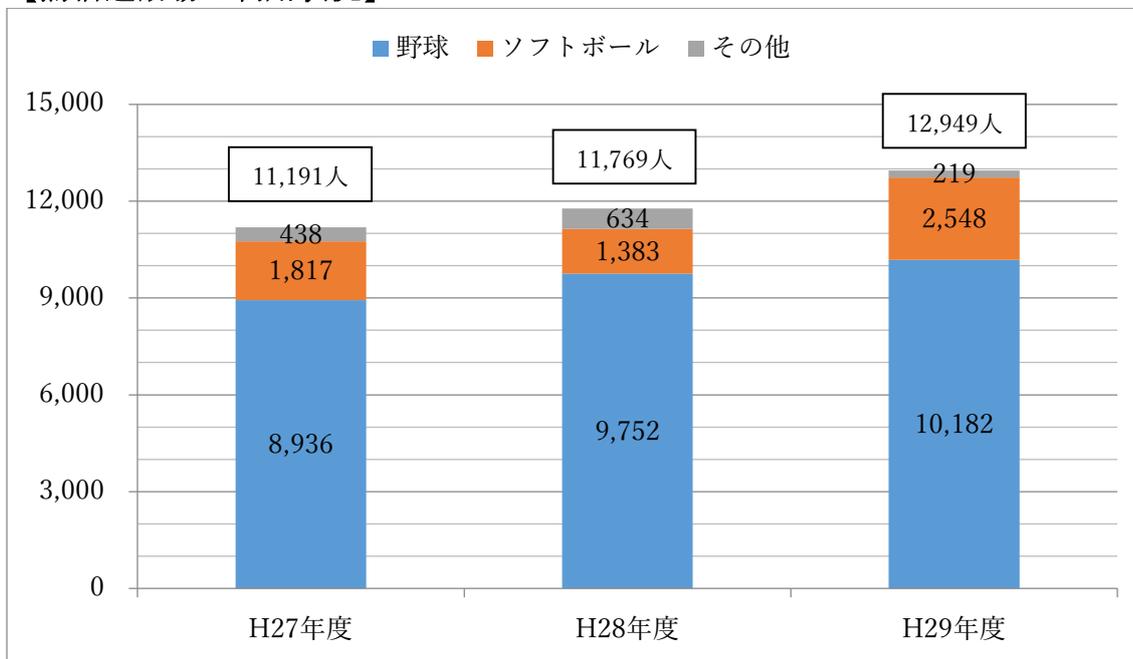
競技種別毎の利用状況は次のとおりとなっており、鶯宿運動場は野球及びソフトボール競技、屋内ゲートボール場はゲートボール及びグラウンド・ゴルフ競技の利用が大半を占めています。

【過去3年間の利用者数】

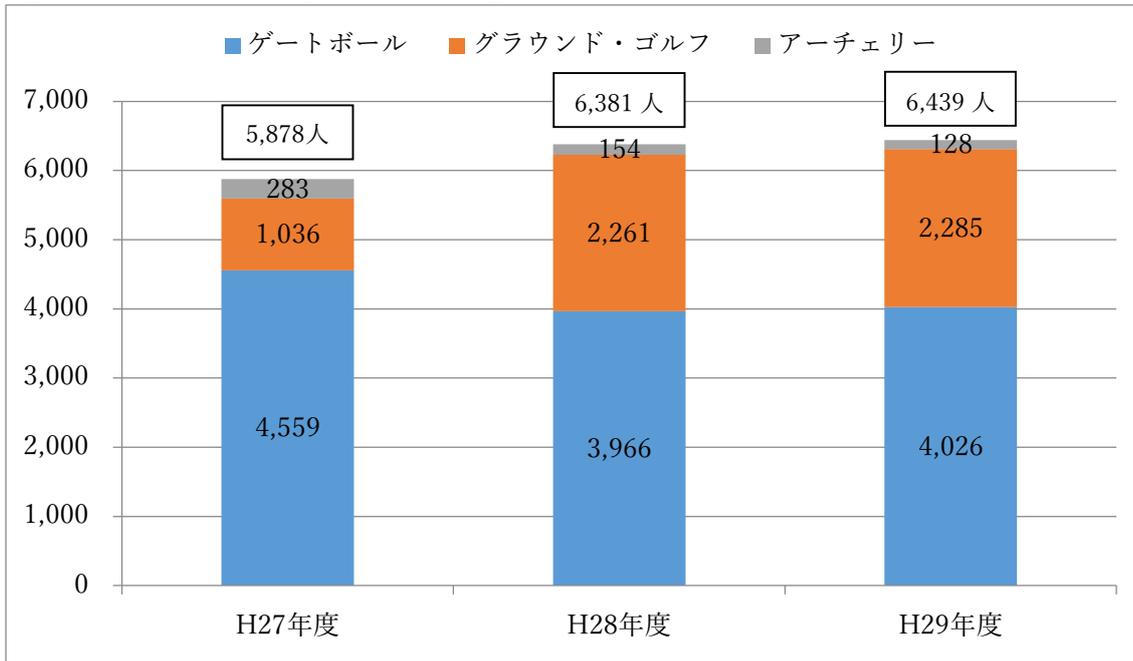
年度	鶯宿運動場	ゲートボール場	クロスカントリースキー場	合計
平成27年度	11,191人	5,878人	3,720人	20,789人
平成28年度	11,769人	6,381人	3,174人	21,324人
平成29年度	12,949人	6,439人	4,228人	23,616人
平均	11,970人	6,233人	3,707人	21,910人

※平均は四捨五入

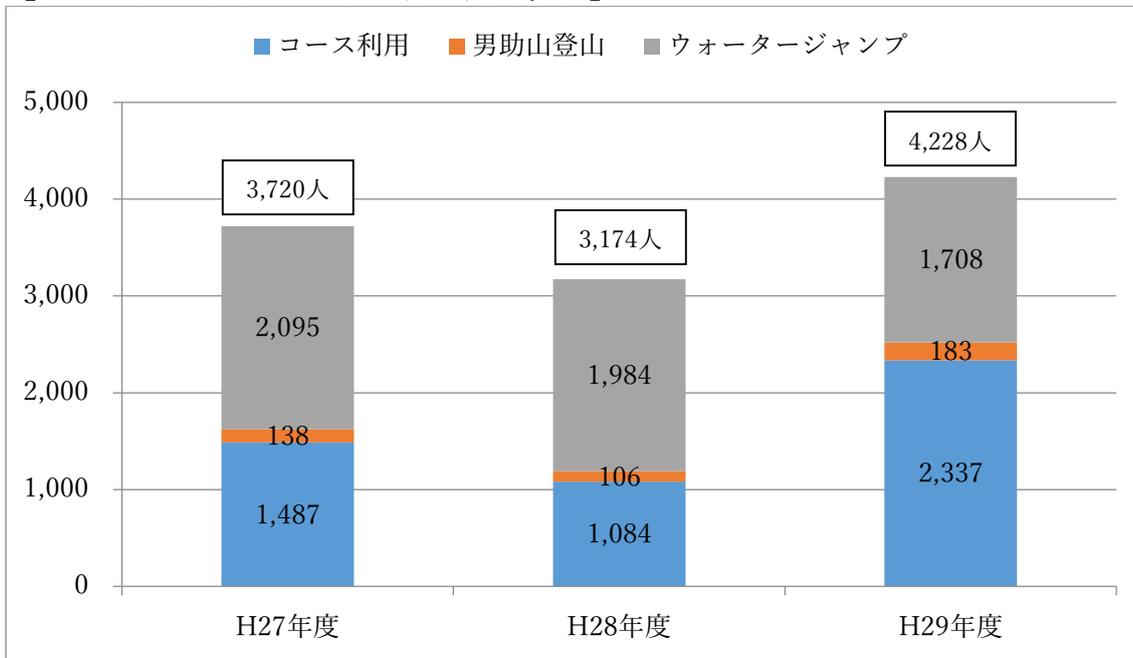
【鶯宿運動場の利用状況】



【屋内ゲートボール場の利用状況】



【クロスカントリースキー場の利用状況】



大会・合宿等の利用実績

鶯宿運動場における平成 27 年度以降の合宿及び県大会以上の利用実績は次のとおりです。

県大会以上の大会利用実績については、毎年度、野球及びソフトボール競技で利用されている状況で、平成 29 年度は、合計で 6 件、利用者延べ人数は 5,035 人となっています。

合宿の利用実績については、鶯宿運動場のみ実績があり、平成 28 年度に野球競技が 1 件となっています。

【県大会以上の利用実績】

鶯宿運動場	野球		ソフトボール		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
H27 年度	2 件	1,468 人	1 件	784 人	3 件	2,252 人
H28 年度	4 件	2,316 人	1 件	455 人	5 件	2,771 人
H29 年度	5 件	3,253 人	1 件	1,782 人	6 件	5,035 人

【合宿利用実績】

鶯宿運動場	野球		ソフトボール		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
H27 年度	0 件	0 人	0 件	0 人	0 件	0 人
H28 年度	1 件	14 人	0 件	0 人	1 件	14 人
H29 年度	0 件	0 人	0 件	0 人	0 件	0 人

※旧南畑小学校校庭は、平成 29 年 8 月 16 日～18 日及び 9 月 16 日～18 日にかけてアーチェリー競技岩手県選手団の強化合宿での利用実績があります。

鶯宿温泉スポーツエリア利活用に係る意見提案等検討シート

このシートは、旧南畑小学校校舎及び校庭をはじめとし、鶯宿温泉スポーツエリア内スポーツ施設の有効活用に向けた住民や関係団体からの要望や、意見交換会により提案のあった内容について、鶯宿温泉スポーツエリア整備計画に反映すべく検討するもの。

なお、旧南畑小学校や校庭については、平成 29 年 2 月から跡地及び校舎利活用に関する意見募集や地域懇談会が行われてきたが、これらの検討を踏まえ、平成 29 年 11 月の人口減少対策本部会議において、社会体育施設として一体的に利活用する方針決定されている。このことにより、この鶯宿温泉スポーツエリア利活用に係る意見提案等検討シートは、平成 30 年 7 月の「鶯宿温泉スポーツエリア構想」策定後に、改めて社会体育施設として利活用するために提案のあった意見提案等について施設毎に検討分類する。

－ 分類の考え方 －

- A 鶯宿温泉スポーツエリア構想に掲げる基本理念や目指すべき姿を目指すうえで検討・配慮すべきもの。
- B 鶯宿温泉スポーツエリア構想に掲げる基本理念や目指すべき姿を目指すうえで検討・配慮すべきではあるものの、当面の対応が困難と思われるもの。
- C 鶯宿温泉スポーツエリア構想に掲げる基本理念や目指すべき姿を目指すうえで検討・配慮すべきではあるものの、実現困難と思われるものなど。

注) 意見提案等区分

- ① 住民意見交換会
- ② アンケート
- ③ 観光協会意見交換会
- ④ 体育協会・種目別協会意見交換会

1. 旧南畑小学校及び校庭

意見提案等区分				提案・意見等	分類			分類の考え方
①	②	③	④		A	B	C	
●	●	●		三つ葉ホールにボルダリング壁の設置		●		近年、ボルダリングブームが高まっている。県総合運動公園大会時における活用が見込まれる。
	●	●		トレーニングマシンをある程度設置し利用可能なルームの整備		●		スポーツ施設、トレーニング施設としては必要な整備。
●	●	●		野球とも併用しながら、グラウンド（校庭）レフト側にアーチェリー常設練習場設置	●			整備により、公認記録会等の大会開催可能。岩手国体のレガシー創出にもつながる。
	●	●		野球のグラウンドとしての整備（ベンチ改修・バックネット裏への審判控室の整備）			●	多用途に利用できる形態を検討する。
●				バックネット裏に審判席を設置する。（スーパーハウスでもいい）			●	用具の保管庫もかねて必要ではある。
●				野球用のベンチを改修する。		●		多用途に利用できる形態を検討する。
			●	校庭への用具庫と得点板の新設及び整備用品の備え付け。			●	簡易得点板を用いることや、利便性には欠けるが既存屋外倉庫で代替可能。
●		●		グラウンドに屋根をかけて冬場でも利用できるようにする。（一部でも良い）			●	合宿利用促進、荒天時・冬季利用促進の観点からは必要な施設であるが、整備費が高額となる。
			●	校庭は、Dグラウンドにしてほしい。Aグラウンドからで野球では4面を取れる他にはない強みとなる。	●			隣接して確保できる特色のある運動場となる。
			●	大人用のマウンド整備とライト側防球ネットの設置。			●	マウンドは平成30年度中に整備する。防球ネットを設置したとしても、大人用の大会としてはライト側が狭小である。
			●	常設のソフトボール場（土のまま）にすることにより、A Bで3面、Cで1面、校庭で1面と5面を確保できる。	●			隣接して確保できる特色のある運動場となる。
			●	常設のソフトボール場として整備してほしい。芝生化は大会ができない。			●	常設では種目が限定されることにより、利用促進の面からは困難。
			●	高校の新人戦は3ブロック順番で開催しているが、ぜひ毎年零石で開催したいという関係者の声がある。（参加：約30チーム）	●			交流人口拡大や宿泊施設利用促進の面から考慮すべき意見。
			●	校庭南側の湧水流入防止と湿地改善。	●			法面拡幅により流入防止対策必要。併せて既存側溝の土砂除去が必要。

意見提案等区分				提案・意見等	分類			分類の考え方
①	②	③	④		A	B	C	
●				1部を芝生化し、芝生でできるスポーツの団体にも利用しよう。		●		多用途に利用できる形態の検討が必要。
		●		グラウンドの芝生化		●		多目的使用や利用促進の面からは有効な整備となる。イニシャルコストやランニングコストが課題。
			●	サッカーはクレーでの使用はほとんどなく、芝生化すれば盛岡からも近く利用度上がる。		●		多目的使用や利用促進の面からは有効な整備となる。イニシャルコストやランニングコストが課題。
	●			グラウンドのネット（校舎側）を整備すべきだと思う。		●		多用途利用の観点からは必要な整備ではある。
●	●	●		体育館の一部改修（バレーボール2面・バトミントン6面・バスケット2面・卓球台の充実）		●		現状バレーコート2面、ミニバス2面可能。閉校小学校からの卓球台移設により可能も、バトミントンについてはネット及び支柱購入要す。
		●		音楽活動の練習場所	●			現状の音楽室で対応可。このほか、別の部屋にする必要あるが、ダンストレーニング等壁面に鏡を設置することにより利用増が見込まれる。
		●		ナイター設備の設置		●		利用促進の観点からは必要な設備であるが、整備費が懸念される。
		●		プールを壊して駐車場（地下に防火水槽設置）		●		プールの水は防火用水として活用可能。相撲場の構造物も腐食劣化進んでいるため、屋外遊具と併せて撤去することにより駐車スペース確保が可能となる。
●	●			屋外型でも良いので屋根付きで各種競泳競技に対応した水深可変型のプール			●	イニシャルコスト、ランニングコストの面から困難。
		●		シャワールーム、更衣室の設置	●			大会、合宿誘致や避難所機能向上に向けて必要な整備
		●		運動後に利用できるシャワー室または風呂場の設置（有料でも可、可能なら温泉を活用）	●			スポーツ施設やトレーニング施設、避難所施設としてシャワー室が必要である。温泉活用は、湯温の懸念・導入経費や運用経費も必要となる。施設周辺には鶯宿温泉あるので、そちらの利用促進につなげる。
		●		小学校に温泉施設を併設すべき			●	温泉活用は、湯温の懸念・導入経費や運用経費も必要となる。施設周辺には鶯宿温泉あるので、そちらの利用促進につなげる。

意見提案等区分				提案・意見等	分類			分類の考え方
①	②	③	④		A	B	C	
		●		アイスバス（水の水槽）		●		大会、合宿誘致等に向けては必要な設備ではあるが、利用頻度少なく、過剰な設備となる。
●		●		調理室または家庭科室を簡単な昼食が調理できる程度に整備。	●			現状の給食室が活用可能であるが、学校給食用の調理器具のため、一般利用が難しい。一般的なガスコンロ、電子レンジ等の設置が必要。
	●	●		体育館・三つ葉ホール等に製氷機の設置	●			スポーツ施設、トレーニング施設として設置は必要。
	●	●		体育館及び校舎内の各教室に個別制御が可能な冷暖房の空調設備の設置		●		近年の酷暑事情もあるため設置検討要す。
	●			足腰に負担がかからないように畳上で体操教室等の身体を動かせる部屋の整備	●			利用促進に向けて、体操・ダンス等多用途に使える部屋の整備が必要。
●	●	●		控室（昼食場所や休憩ルーム、ごろ寝できるようなところ）	●			待合場所、休憩場所のようなスペースが必要。
	●			卓球ルームの整備（1教室に卓球台を3台位は設置できそう）	●			既存卓球台の活用が可能（普通教室は2台まで設置可能）。
	●			音楽演奏、バンド練習等が出来る防音化した音楽練習ルームの整備		●		防音化は課題であるが、既存音楽室の活用が可能。
	●			様々な文化、学習に利活用可能なカルチャールームの整備	●			利用促進に向けて、多用途に利用できる部屋を設けることが必要。
	●			様々なものづくりに利活用可能なルームの整備	●			多用途に利用できる部屋を設けることにより対応が可能。
	●			憩いの場として利活用可能な多目的ルームの整備	●			待合場所、休憩場所のようなスペースが必要。
	●			ダンスとかトレーニングルーム整備	●			多用途に利用できる部屋を設けることにより対応が可能。
	●			校舎にオリエンテーションを行える部屋を整備	●			多用途に利用できる部屋を設けることにより対応が可能。
●		●		トイレは児童用から大人用に改修が必要であり、和式をシャワートイレ化	●			洋式化が必要であるほか、バリアフリーを考慮しての整備も必要。
			●	二段ベッドを設けるなど、子供が合宿できるような設備とし、賄いは鶯宿から取るような体制の構築（親は鶯宿に）			●	宿泊施設を設けることは、鶯宿温泉や町内宿泊施設にとっての不利益が懸念される。町内宿泊施設が活用されるようにすべき。
●	●	●		屋外の遊具は、40年前からあり安全性も考慮に入れて撤去し、駐車場にする。相撲場も根元が腐食しているため、撤去でよい。	●			現状、駐車スペース限られている。エリア的にも県大会規模では不足の状況にある。相撲場及びプール脇遊具スペースを活用して駐車スペースを確保する。

意見提案等区分				提案・意見等	分類			分類の考え方
①	②	③	④		A	B	C	
●				プールを解体し、駐車場にする。			●	費用面から解体は困難。プール以外の利用方法は検討要す。
●				プールを防火水槽にする。			●	長期間雨水を蓄えた場合、衛生面が懸念される。
●				空き教室を利用しての旧南畑小学校を感じることで できるスペースの設置	●			地域のよりどころでもあったことから、保管庫や展示部屋を 設ける必要ある。個人のものについては、返却も検討する。
●				プールをアイスバスに利用できないか			●	アイスバスとしての利用は困難。
●				地域住民交流スペースの設置	●			単独の部屋とすることなく、多目的に使用できるスペースを 設け、住民利用の際には利用できるようにする。
●				シャワー、ミーティングルームの整備。	●			スポーツ施設、トレーニング施設としては必要な設備。
●	●			自販機の設置。(飲料、カロリーメイトなど)	●			スポーツ施設、トレーニング施設としては必要な設備。
●	●			コインロッカーの設置(料金返却型のロッカーにする)	●			貴重品管理のため、シャワー用更衣室に必要な整備。
	●			駐車場、駐輪場の整備・体育館の2階ギャラリーを登 りやすくして観客席に	●			駐車台数少なく駐車場整備必要。 体育館2階ギャラリーへの上りやすさについては検討要す。
	●			スポーツに限らず高齢者若者全ての多世代交流の拠点 とすべき。そのため既設温泉管を活用して老人憩いの 家鶯宿荘を移転して統合拠点を営む多数の意見を代表 して記入した。			●	スポーツを通じて多世代交流が図られる取り組みが必要であ るが、老人憩の家鶯宿荘の移転は、湯温が懸念されることも あり、整備費や運用費の面から困難。
	●			校舎内の2つ程度の教室に2段ベット又は折りたたみ ベットを設置し、1部屋あたり10～20人程度が団体合 宿で宿泊利用可能なゲストハウスに改装(宿泊利用料 金は出来るだけ低料金にする)			●	町内宿泊施設を活用してもらうことが必要。
	●			施設管理人の常駐。または複数個所へ監視カメラを設 置。各教室を施錠可能に整備する。			●	管理人の常駐は必要と考える。諸室への施錠も必要であるが 監視カメラについても設置検討要す。
	●			施設や教室の貸出料金体系の早期整備	●			条例整備に併せて検討要す。
	●			グラウンドは一部人工芝、ナイター施設を導入し、鶯 宿温泉中小規模施設旅館など滞在型としてスポーツ団 体等と契約、安定した観光代を推進(鶯宿と話し合い している)			●	多目的利用の観点から芝生化の検討必要。ナイター設備を設 けることができれば活用促進にもつながる。イニシャルコス トやランニングコストが課題となる。鶯宿温泉観光協会やし ずくいし観光協会と連携して宿泊パックや宿泊あっせん、歓 迎ムード創出の必要がある。
			●	耐用年数を考えて整備すべき	●			考慮すべき意見

2. 鶯宿運動場

意見提案等区分				提案・意見等	分類			分類の考え方
①	②	③	④		A	B	C	
●	●	●		グラウンドの再整備（水はけの改善・ベース位置の再測定）	●			平成 30 年度において、不陸修正等実施する。
●				ホームベースがズレているので直す。	●			平成 30 年度において行う不陸修正にあわせて修正を予定する。
	●	●		Cグラウンドの固定ベース化	●			固定化の検討要する。
●	●	●		Cグラウンドへの審判控室の整備。内線電話も設置する。			●	利便性には欠けるが、隣接Bグラウンドの施設を利用することにより対応可能。
	●			名称の変更「鶯宿温泉運動場」又は「鶯宿温泉スポーツエリア」		●		名称変更には条例の改正が必要であり、検討要す。
	●			グラウンドは一部人工芝、ナイター設備を導入し鶯宿温泉中小規模施設旅館等、滞在型としてスポーツ団体と契約、安定した観光推進すべし。		●		利用促進や鶯宿温泉の振興に向けて整備できれば良い設備ではあるが、イニシャルコストやランニングコスト勘案すると困難。
	●	●		一部人工芝により多目的施設とすること		●		利用促進上整備できれば良い設備ではあるが、イニシャルコストやランニングコスト勘案すると困難。
		●		テニスコートのネットをつける			●	土のグラウンドであるためニーズ少ない。
	●			ソフトボール用のバックネットを外野側に工夫して作る			●	従前対応で簡易ネットにより対応が可能。
	●			移動式マウンド			●	購入費高額。利用形態によりフィールド設ける場所を検討して対応可。
	●			Cグラウンドのドーム化			●	利用促進上整備できれば良い設備ではあるが、事業費が高額である。
	●			駐車場整備		●		県大会規模では駐車場不足状況にある。
●				鶯宿運動場から親しみがもてるように「鶯宿温泉グラウンド」等に名称を変更する。		●		名称変更には条例の改正が必要であり、検討要す。
●				冬場は、雪灯り会場やかまくらを作成して遊べるようにする。	●			観光協会・地域連携しての取組みを検討する必要がある。
●				ドローン練習場として利用できるようにする。	●			他に利用のないグラウンドにての利用は可能。

意見提案等区分				提案・意見等	分類			分類の考え方
①	②	③	④		A	B	C	
			●	グラウンド内にセリ出ている木の除去。	●			危険防止の防球ネット設置と併せて検討必要。
			●	外周フェンスの改修又は修繕と塗装。		●		経年劣化が見られることから将来的には必要。
			●	グラウンドの不陸修正。			●	平成30年度町営球場内外野整備工事による残土活用により対応を検討。
			●	排水機能の向上。			●	改善に係る整備費が高額。
			●	通行車両等の危険防止のための防球ネット設置。	●			危険防止のために必要な整備。
			●	グラウンドの拡幅（県道の反対側）			●	整備費が高額。
			●	得点板の改修又は修繕	●			支柱に支障はないため、修繕対応が可能。

3. ゲートボール場

意見提案等区分				提案・意見等	分類			分類の考え方
①	②	③	④		A	B	C	
	●			別の競技ができるように用具の充実		●		多用途利用に向けては必要な整備。
●				冬場に屋内でキャンプできる場所にするなどゲートボール以外でも利用できるようにする。		●		利用促進に向け、運用面での対応検討。
●		●		一部を芝生化して、パターゴルフ場にする。ファミリーランドはボロボロである。		●		屋外については、芝生化によりグラウンド・ゴルフ利用も可能となる。
●		●		屋内ペタンの練習場や大会場として開放	●			利用促進に向け、運用面での対応検討。
		●		ゲートボール以外の屋内スポーツや様々な屋内イベントに利活用できるように開放	●			利用促進に向け、運用面での対応検討。
		●		スポーツ以外でも利用可能にする（屋内にテントを張って気分だけでもキャンプとか）			●	利用促進に向け、運用面での対応検討。
	●			グラウンド・ゴルフ整備も進めること	●			グラウンド・ゴルフコースを設けることにより活用が見込まれる。
	●			ビック大会を定期導入すること		●		現状、屋内2面、屋外2面が確保できる。関係機関等との協議要する。
			●	ゲートボール場の人工芝化は必要ない。他にお金を使わなければならないところに使用すべき。	●			ゲートボール競技種目だけの利用増は困難。多用途に使える検討が必要。

4. クロスカントリースキー場

意見提案等区分				提案・意見等	分類			分類の考え方
①	②	③	④		A	B	C	
	●			グリーンシーズンの活用、モータースポーツ（バギー等レンタル：悪路用（アクティビティ））		●		コースの安全管理が肝要となる。整備費、人的体制検討要す。
	●			スケートボード場整備		●		エリア的にフィニッシュエリアが見込まれるが、クロカンコースのフィニッシュエリアともなるため、整備場所確保困難。
●				男助山登山をもっと宣伝し、登山道と頂上の見晴らしを良くし、鶯宿温泉に下り、温泉に入ってもらいようにする。			●	登山口・下山口が別となることにより送迎対応も必要となる。観光面でも検討要す。
●				モトクロス、バギーを数台でもいいので揃えて貸出できるようにする。また、そういったことでも利用できると宣伝する。			●	夏場の活用策として有効ではあるが、コースの安全管理が肝要。整備費、人的体制検討要する。
●		●		クロスカントリーレース（スキー場ではない）の練習場に利活用し、レース大会を誘致	●			夏場の活用策として、検討要す。
●				140周年の看板を鶯宿温泉スポーツエリアの施設の看板にする。	●			旧小学校のメモリアルルーム的活用の部屋にての活用は検討可能。
●				男助山にジップライン、ターザンロープのような斜面を滑るアスレチックを設置する。			●	安全管理・整備費・人的体制など課題多い。
●				男助山の頂上からパラグライダーをできるように整備する。利用者が上りやすいように斜面にリフトを設置する。			●	安全管理・整備費・人的体制など課題多い。
		●		練習後の疲れた身体をすぐに癒すことができるよう温泉を利活用した入浴施設を増設			●	イニシャルコスト、ランニングコストの面から困難。
		●		モトクロス、MTB等の競技大会を誘致できるように整備と宣伝			●	夏場の活用策として有望ではあるが、コースの安全設備等経費面で困難。
		●		冬季以外にはオリエンテーリングやハイキングコースとしても利活用できることを今まで以上に宣伝	●			夏場の活用促進に向けて検討が必要。
		●		グリーンシーズンの活用として、モータースポーツ。			●	夏場の活用策として有望ではあるが、コースの安全設備等経費面で困難。
		●		バギー等のレンタル（2～4台）【悪路用（アクティビティ）】			●	夏場の活用策として有望ではあるが、コースの安全設備等経費面で困難。

意見提案等区分				提案・意見等	分類			分類の考え方
①	②	③	④		A	B	C	
		●		夏場はモトクロス競技やバギー試走場のような使い方。			●	夏場の活用策として有望ではあるが、コースの安全設備等経費面で困難。
		●		スキー場から小学校までの現状細い道路を広く整備して、直線で行き来できるようになればよいと思う。			●	現状の利用状況では整備困難。
	●			ミニキャンプ場、アルペンコース速やかに整備すること。			●	イニシャルコスト・ランニングコスト・運用体制など考慮すると困難。

5. 町のスポーツ、健康分野、観光分野に関する意見

- ・町内にはスポーツをする場所や練習場がたくさん存在するがそれに関連して見学者用の観覧席が無い施設がほとんどの為、競技大会等を開催しても大勢を集客する事ができず大きな大会を誘致することが難しいと思われる。せめて運動公園内の野球場、陸上競技場、町営体育館と屋内温水プール施設に観覧席を増設する事は出来ないのだろうか？
- ・管理者が運営に困ることがないよう、管理料や委託料など、金銭面の予算組をしっかりとお願いしたいです。
- ・町内の観光宿泊施設の自社集客努力（営業努力）が見て感じられない
- ・観光協会や行政におんぶにだっこ状態で頼り切っているように見え、民間企業（個人企業を含む）の一種とはとても思えないように感じられる
- ・観光協会自体の努力は評価に値すると感じているので、経営者や運営者の考え方や意識の問題と思われる、企業運営方法に対しても行政的指導（テコ入れ）が必要ではないか？
- ・行政側は自社営業努力を怠っている企業（ホテル、旅館、民宿）に対しては、町の財源を投じる方法を再考してはどうだろうか？（努力と成果に対して評価し報いる方式等へ）
- ・雫石町を訪れる観光客の半数以上は入り口である小岩井農場で引き返しているのでは？
- ・雫石町の深部への誘客方法をさらに考え町全体がバランスよく活気づかせることを考えるべきと思う
- ・御所湖ファミリーランドのパターゴルフ場の人工芝が老朽化でボロボロになっている。
再整備はできないか？またはいっそのことパークゴルフ場にしてはどうか？
- ・旧南畑小のグラウンド改修後に、野球系（ソフト・少年野球含）の大会誘致（グラウンドが4面隣接している所は他に無いのが強み）
- ・盛岡市の衛星体育施設としての練習会場に提供としての整備。合宿や大会の時の宿泊地域となるように！
- ・野球以外では町内での大会運営は困難（人員不足・大会運営費が予想できるので、中途半端なものではなく練習場として整備したほうがいい。

- ・合宿誘致や大会宿泊場所として鶯宿温泉と連携して集客することは大変良い事だと思う。
- ・ドックスports等も盛んになっている。鶯宿温泉にも犬と宿泊できるホテルがあると聞いているので、グラウンド等にドックラン（競技にも使用できるもの）を整備してはどうか。また、ペット宿泊ホテルも増やせれば集客や目玉として宣伝につながると思う。
- ・ターゲットとなる年齢層などを絞って整備を進めるのが良いと思います。
- ・考えてばかりいないで、すぐ取り組むこと。地域の過疎化防止のためにも町長が命を懸けてやること。
- ・管理は地元に法人化（NPO）など指導し地域管理を推進する事。学校統合して3年目何をグズグズしている早急具体化すること。
- ・経営的プラン、ニーズから追わないと町民負担となる。
- ・鶯宿運動場直近に多目的グラウンドの新設
- ・ランニングコストが負担にならないような整備。経営者的考えでの整備必要
- ・屋内運動場（ドーム）の整備。本気で特色づくりをしないと人が来ない。
- ・スポーツ交流人口増やすことが必要
- ・行政、観光協会や関係団体との協力体制構築が必要
- ・統合と併せて検討すべきであった。
- ・御明神運動場駐車スペース狭小、トイレの改修も必要。
- ・サッカーの今の流れだと、土のコートでは人は来ない。大会を開催するとすれば、芝生化された6コートは必要。（少年団の公式大会には、約80チーム参加）。県サッカースポーツ少年団大会、全日本サッカー大会岩手県大会、岩手県スポーツ少年団新人サッカー大会あり
- ・体育協会にしても観光協会にしても、観光客・宿泊客、スポーツ交流人口の増に向けては一緒に協議していかなければならない。
- ・スポーツエリア構想の4つの基本方針も一気にとなれば、どっちつかずになる。まずは一つに絞って進めるべき。
- ・鶯宿温泉の意気込みも気になる。学生を呼ぶ場合、宿泊費を格安にするなど協力してやっていく気があるかどうか話を聞いてみたい。
- ・廃校になった小学校など、町全体を見ての構想が必要。それぞれで検討することは地域エゴになり、将来町民の負担になるだけではないか。
- ・合宿の場合、対戦相手も必要になる。菅平のように対戦相手がいるからその場所に来るようにしないと厳しい。
- ・宿泊費の一覧表があれば便利。大会や合宿誘致にはそういったものも必要。
- ・プロサッカーチームは、資金面で懸念がある。
- ・鶯宿温泉での受け入れ態勢の整備が必要。

「鶯宿温泉スポーツエリア構想策定プロジェクトチーム」これまでの経過について

1. プロジェクト経過

日時・場所	内容	備考
4月16日(月)庁議終了後 役場3階大会議室	鶯宿温泉スポーツエリア構想(以下「構想」という。)について ・検討の進め方について	
4月18日(水)	構想策定プロジェクトチーム設置の決定	
4月25日(水)	構想策定プロジェクトチームの立ち上げ	庁内関係課によりチームを組織
5月10日(木)13:15～ 役場3階307号委員会室	第1回プロジェクトチーム会議 ・構想の検討内容について ・今後のスケジュールについて ・アンケートの内容、調査対象について ・ヒアリングの相手方について	
5月21日(月)13:00～ 旧南畑小学校	第2回プロジェクトチーム会議 ・旧南畑小学校、屋内ゲートボール場確認	
5月31日(木)10:00～ 役場3階307号委員会室	第3回プロジェクトチーム会議 ・構想と整備計画策定に向けた意見集約	
6月18日(月)庁議終了後 役場3階大会議室	第3回人口減少対策本部会議 ・構想(案)について	
7月9日(月)	・構想町長決裁	
7月17日(火)庁議終了後 役場3階大会議室	第4回人口減少対策本部会議 ・構想策定報告	
7月18日(水)8:45～ 役場3階大会議室	第4回プロジェクトチーム会議 ・整備計画の策定について ・アンケート調査の実施について	以降、庁内LANによる情報共有・策定作業
7月26日(木)	旧南畑小学校区行政区内住民への旧南畑小学校の利活用等に向けたアンケート調査票配布及び意見交換会開催案内	構想概要版配布
8月8日(水)19:00～ 旧南畑小学校	旧南畑小学校の利活用等に係る意見交換会 ・卒業記念品等の取り扱いについて ・地域住民の交流スペースの必要性について ・校舎の有効活用策について ・グラウンド、プールの有効活用策について ・鶯宿運動場、ゲートボール場、ケッパレランドの有効活用策について	出席14名
	旧南畑小学校区行政区内住民への旧南畑小学校の利活用等に向けたアンケート調査票回収	393世帯に配付、回収枚数8枚
8月15日(水)10:15～ 役場3階305号委員会室	雫石町議会議員全員協議会 ・構想説明	
8月下旬～10月上旬	業者・関係機関等との打合せ (現地確認、見積及び資料提供依頼等) ・用途変更関係 ・校舎及びグラウンド(芝生)整備について	
9月3日(月)15:00～ 鶯宿温泉観光協会応接室	観光団体(2団体)との意見交換会 ・構想への意見、要望について ・現状確認について	

9月18日(火)～19日(水) 東京都 都道府県会館	いわてスポーツ Kommission合宿相談会 ・大学、企業との合宿誘致に係る面談	企業6団体、大学8団体と面談
9月20日(木) 19:00～ 町営体育館会議室	体育協会・種目別協会との意見交換会	8名出席
9月28日(金) 13:15～ 役場3階307号委員会室	第5回プロジェクトチーム会議 ・団体や業者との打合せ・顛末報告 ・整備内容、概算費用について ・概算の整備及び維持管理について	
10月3日(水)～4日(木) 茨城県城里町七会町民センター「アツマーレ」	七会町民センター「アツマーレ」視察 ※廃校(旧七会中学校)を活用し、行政機能とサッカーJ2水戸ホーリーホックのクラブハウスとして整備(H30.2月オープン) ・施設見学、情報交換	
10月10日(水) 10:15～ 役場2階応接室	関係課との素案協議 ・素案概要説明	
10月16日(火)	第6回人口減少対策本部会議 ・整備計画(案)について	
11月27日(火)	雫石町スポーツ推進審議会 諮問・答申	
11月30日(水)	町長決裁により計画決定	

2. メンバー

No.	所属	職名	氏名	備考
1	総務課	主査	徳田 靖	
2	政策推進課	主査	相澤 幸司	
3	観光商工課	主査	石塚 賢一	サブリーダー
4	観光商工課	主任	藤原 瑞枝	
5	生涯学習スポーツ課	主事	齊藤 慶祐	
6	生涯学習スポーツ課	主査	上和野 悟	リーダー

3. 事務局

No.	所属	職名	氏名	備考
1	生涯学習スポーツ課	課長	徳田 秀一	
2	生涯学習スポーツ課	主査	上和野 悟	メンバー兼任
3	生涯学習スポーツ課	主事	齊藤 慶祐	メンバー兼任